

# コーディネーター通信



令和2年6月 1日発行

校長 杉本 順

担当：田中・田崎・松山・塚本

## 今年度のコーディネーターです！

松山かをりです。中学部担当コーディネーターです。子育てについてのこと、学校生活のこと副籍交流のこと…学校や生活する中での相談があれば、コーディネーターにいつでも声をかけてください。よろしくお願いします。

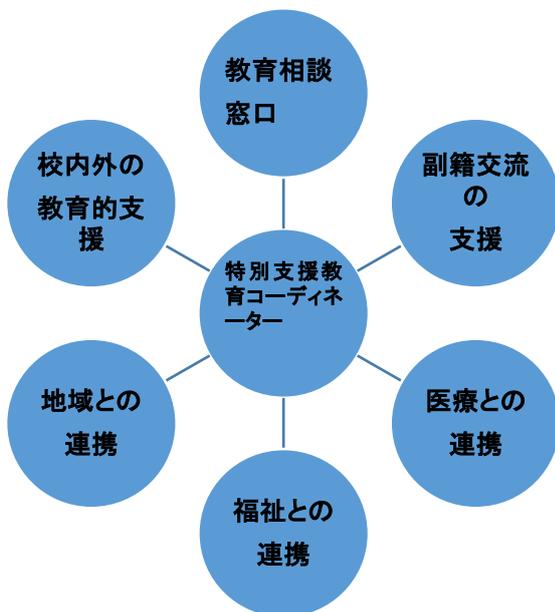


田中美晴です。コーディネーターってこんなこともあんなこともやってたの！？知らなかったことがたくさんで驚いている1年目です。縁の下の力持ちになるべくがんばります！

田崎里香です。コーディネーター2年目になります。昨年の経験を活かしつつ、さらに学びを深めていきたいと思います。それを様々な支援につなげられるように頑張ります！！

塚本 健です。専任コーディネーター2年目になります。1年目は毎日が勉強でしたが、2年目は勉強の成果を発揮して、皆さんの力になりたい！と思っています。

## 特別支援教育コーディネーターの役割



特別支援学校のコーディネーターは校内外で左図のような役割を担っています。校内のお子さんたちの支援としては、副籍交流に関する相談をお受けしたり、個々のニーズに応じて関係機関と相談・連携しながら必要な支援を行っています。校外への支援としては品川特別支援学校の学区内にある各区教育委員会や保・幼・小・中学校などから寄せられる特別支援教育に関する相談に対する支援（巡回相談や研修会講師）を行っています。今年度も各地域との情報交換を深め、一人ひとりの子供たち、保護者の皆さんの支援につながるよう力を合わせていきたいと思っています。

## 特別支援学校のセンター的機能

私たちコーディネーターは、品川特別支援学校の通学区域にある区立幼稚園、小学校、中学校へ巡回（訪問）相談や研修会講師として出かけています。これは特別支援学校が、地域の特別支援教育の相談を受ける「センター的機能」を担っているためです。「特別支援学校のセンター的機能」とは地域における特別支援教育を推進していくために、幼稚園、小学校、中学校、高等学校又は中等教育学校の要請に応じて、児童、生徒又は幼児の教育に関して相談を受けたり、必要な助言又は援助をしたり、情報を発信する機能のことで、学校教育法の中でも位置付けられています。

是非、お声掛けください。



令和元年度 実施した研修会講師「テーマ」と「対象者」	
「発達障害の障害特性と個に応じた指導」	品川区コーディネーター研修会
「特別支援学校の教育」	品川区初任者研修会 目黒区初任者研修会
「授業研究」助言者	大田区小学校
専門性向上事業 「魅力ある一斉授業について」	品川区小学校 特別支援学級
「通常学級の中でできる特別支援教育」	大田区小学校
コーディネーターの役割－6つの推進役－	目黒区コーディネーター連絡会
「教材、教具の紹介」	品川区特別支援教育研修会
「特別支援教育の構造化と教材教具」	品川区心理相談員研修会
知的障害の子供の特性と関わり方	本校ボランティア講座
特別な支援を要する子供の10のキーポイント	品川区小学校
副籍理解推進授業（出前授業・児童生徒向け） 「品川特別支援学校の紹介と特別支援学校の子供たちのこと」	品川区、 目黒区 大田区小学校

## 副籍交流について



新型コロナウイルス感染予防での休校が続き、今年度の副籍交流についてもどう進めるのか見通しがもてていない状況です。5月初旬までには各区教育委員会から地域指定校決定通知が関係する学校に届けられましたが、小中学校の受け入れ学級の担任の御名前も確認できていない状況で副籍計画書が作成できていません。副籍計画書の作成時期、直接交流の開始時期、直接交流に先立って行う打ち合わせの時期や方法など、各区の教育委員会や相手校と確認をしていきたいと思っております。自分たちの学校の授業や行事も不透明な状況で副籍交流を進めることはいくつもハードルがあると思っておりますが、連携をとりながら進めていきたいと思っております。

品川区、目黒区、大田区共に1学期は間接交流のみ実施、直接交流については実施できても2学期以降という方向性が出ています。

令和元年度「特別支援教育理解推進研修会」の報告

テーマは「子供の発達と運動あそび」～理論と実践～

講師：倉上 千恵先生（MITTE KIDS ミットキッズ 代表）

倉上先生は1～6歳の子供たちを対象に「運動あそび」「遊ぶ英語」を通して体と心の軸作りをめざす体操教室を主宰されています。児童発達支援センター等で体育専門指導者としても御活躍されています。

以前、倉上先生の授業を見学する機会に恵まれた時に『先生の授業に比べて、自分の体育の授業は完成度が低い！』と自戒の念を抱き、地域の教員の皆さんと一緒に学べないだろうかということが動機となりこの研修会を企画しました。

参加者：品川区、目黒区、大田区の保育園、幼稚園 小中高校教員及び本校教員 計52名

実施日：令和元年12月26日 品川特別支援学校体育館にて

<受講者の感想から>

○倉上先生のMC力（話術や遊び心、テンポのある明るい指示、声かけ、流れの作り方）が勉強になった！

○動画がとてもわかりやすかった。

- ・壁逆立ち：年齢別の課題の変化、子供の成長振り
- ・クマ歩き：紐でラインを作り目印にする。
- ・お洒落な選曲でしかも効果的なBGMの使い方
- ・用具や器具の工夫：マットの下にボールを入れて不整地を作る等



○受講者が楽しく学べた。

座学⇒実技⇒座学⇒実技・・・の繰り返しスタイル

教材や器具、活動のマイナーチェンジ（スモールステップ）の具体例

<例>大縄跳び、サーキット運動等

○受講者の主体的な活動がある。

体育倉庫にあるマットやフラフープ、バランスボール等器具や用具を組み合わせアクティビティを作る。

保育園も学校も体育倉庫の中には限られた器具や用具しかないので、発想力、工夫する力は即実践につながると思った。

○今後取り上げてほしいテーマ

- ・引き続き運動遊びについて学びたい。
- ・今回の内容をじっくりと回数をかけて学びたい。大切なことがたくさんあったのにメモしきれませんでした。

**受講者からのリクエストが多かったため、今年度の理解推進研修会も「倉上千恵先生」に講師をお願いしました。**

**例年は年度末に実施しますが、5月までの休校の影響で日程は未定です。決定次第、関係機関を通して関係の皆さんにはご案内します。**

「学校公開について」

新型コロナウイルス感染予防の影響で6月と10月に予定されていた学校公開は実施できません。毎月1回実施している学校見学等をご活用ください。